

発行：(社) 福島県臨床衛生検査技師会

〒960-1247 福島市光が丘 1 番地

発行責任者：比佐 哲夫

編集委員長 金子 隆子

福島県立医科大学附属病院検査部

TEL. 024-548-4290

第 36 回福島医学検査学会

平成 16 年度(社)福島県臨床衛生検査技師会総会

並びに第 36 回福島医学検査学会を終えて

第 36 回福島医学検査学会長 矢沢正隆

5 月 22 日、23 日磐梯山のふもと、アルツ磐梯ロッジ&セミナーアルツにおきまして平成 16 年度(社)福島県臨床衛生検査技師会総会並びに第 36 回福島医学検査学会が開催され、皆様の御協力のもと、滞りなく終了できましたことを報告するとともに担当支部を代表し、深く感謝いたします。



矢沢正隆学会長

今回の学会は会員、賛助会員、一般参加者合わせまして 363 名の参加があり、又 195 名の宿泊者がありました。5 月 22 日はパネルディスカッションから始まり、各パネラーの熱の入った発表により時間が超過し、司会者におかれましては討論時間で大変ご苦労されたようです。

総会におきましては会費値上げ等、定款の改正があり心配致しましたが会員の皆様のご理解により無事承認されました。

情報交換会では、前回大花会長(第 35 回福島医学検査学会)のジャズダンス“動”に対し猪苗代湖と会津若松市の夜景、ケーナの演奏すなわち“静”で対抗しました。情報交換会に参加されたほとんどのの方は同施設に宿泊されましたので、帰りを気にせず、懇親を深められた事と思います。

ナイトセミナーでは混乱も無く終了したようですが豊富な飲み物のせいか、自分の宿泊する部屋がわからなくなり廊下を行ったり来たりする会員が多かったとの報告もあります。翌日 23 日は朝早くから一般演題発表があり、昨日の「名残」が演者に影響しないかどうか少々心配でしたが座長さんの協力もあり予定どおり終了する事が出来ました。

学会のフィナーレは杉山みち子先生(神奈川県立保健福祉大学栄養学教授)の公開講演で前日のパネルディスカッションのテーマとの関連性を考慮し「栄養マネジメント」を選択しました。臨床検査データは臨床現場ばかりで活用されるのではなく管理栄養士の皆さんも検査データを基に栄養評価、栄養指導を行っております。杉山先生によりますと栄養指導も疾患、病状、年齢、体重、栄養状態により複雑で現在、管理栄養士内で一番読まれている本は臨床検査データの解釈に関する本だそうです。患者の栄養状態の改善は治療効果と病院の経営効率に大きく寄与することは明らかで、検査技師もチーム医療のパートナーとして管理栄養士の皆さんとともに病棟をラウンドする日は近いと考えます。最後に総会、学会が盛会のなかで終えることが出来ましたことは会員、賛助会員、各支部の事務局長様、支部長様のご支援、ご指導によるものと考えます。改めて、実行委員一同、この紙面をお借りしまして深く感謝するとともにお礼の挨拶とさせていただきます。



総会会場

“フレッシュマンから”

「第36回福島医学検査学会に参加して」

呉羽総合病院臨床検査科 渡邊 誠

今年の四月から呉羽総合病院に入社し 21 年間福島市で暮らしてきた私にとっては慣れない土地での一人暮らしと、社会人として働くことの重みに悪戦苦闘するなか、今れた学会への話が舞い来ました。正時は、前述の況だったのするかどうかでしたが、学会に参加して今までお世話になった先生や、実習先での技師さんに改めて御礼を言いたいのと同級生との再会があることを願って参加申込を致しました。



今回わの参加込んで直その様な状で参加か悩み

会場は会津にある、アルツ磐梯ロッジ&セミナーアルツというところで、いわき市から 2 時間 30 分ほどの旅でした。景色が良く、とても空気が新鮮だったのを覚えています。

今回の学会は二日目の一般演題からの参加で、現在担当している尿検査の演題を中心に聞きました。尿沈査所見により病状を発見できたという内容のものであり、尿の担当になってまだ日が浅い私にとって非常にためになる演題でした。また、公開講演の「栄養ケアマネジメント」においては、臨床部門では普段あまり接する機会が少ない多方面の話新鮮な気持ちで楽しく聞かせてもらいました。

こうして振り返ってみると参加して良かったと思います。次回の学会ではある程度の知識を持って挑みたいのです。

最後に、今回参加出来なかった新臨床検査技師に一言。来年こそはぜひ参加して、他の検査技師との交流を深め、臨床検査の活性化におおいに貢献しましょう。



第2会場



パネルディスカッション シンポジスト



熱心なナイトセミナー参加者達



公開講演講師の杉山みち子先生

第36回福島医学検査学会参加状況

支部名	学会		合計
	22日	23日	
県北	32	19	51
県南	62	68	130
いわき	19	17	36
双相	8	2	10
会津	75	4	79
賛助会員	48	9	57
一般	0	7	7
合計	244	126	370

検査のお仕事

認定臨床微生物検査技師として

太田西ノ内病院検査部 前田 順子

有能な認定臨床微生物検査技師の育成を図り、より良質な医療を国民に提供することを目的として、認定臨床微生物検査技師制度は、平成13年から3年間の過渡的特例措置により平成16年現在で276名の臨床微生物検査技師が認定されました。私は最終の認定試験でかろうじて合格。しかし有能の二文字は、はたして自分のために合っているのか？はなはだ疑問で、仕事ぶりはその名称にふさわしいのか自問自答している毎日です。

最近の微生物検査はここ数年、目まぐるしく変化しました。私が細菌検査に配属になった十数年前には、薄暗い最も場所の悪い、急な階段を自力で三階まで登らないとたどりつかず、登ったら最後降りたくないような場所でした。ただ、の世界に閉じこ対話だけで良く、が知らなくても、足の世界で、どに発育してきたし、感受性をし果としてもどし



もくもくと自分もり、培地との菌の名称など誰ひたすら自己満んな菌でも培地ものは全て釣菌て臨床に検査結ていました。それから二度目に細菌検査に足を入れた時から様子がどうもおかしい！私が知っている細菌検査と違う・・・。一体何がどう違うのだろうか？

培地との対話ではなく、ヒトとの対話をよぎなくされました。おりしも O-157 が世間を騒がせ、日本国全体が揺れ、バイオテロが世界を揺さぶった。それからは新感染症の津波が襲ってきた。その度に私自身の格闘が始まり勉強仕出すのでした。何でこんなに色々な菌がでてくるのやら。少し休ませて欲しいと願っている矢先に認定制度施行。月並みですが、神は私にまだ働けと命じているのでしょうか？

また Dr がやって来ました。「すみません鏡検、見てください」研修医制度を病院がとっているの、細菌検査の仕事の一貫として Dr との研修も重要です。しかし、それがコロニゼーションか感染症を引き起こしているのか、抗菌薬は何を投与したら良いか？研修 Dr は迷い、意見を聞きたがり、うかつなことは言えないので、また勉強。日常業務の他に、感染症委員会のデータ一出し、アウトブレイクの監視、感染症サーベランス、感染対策活動となんと幅広なこと。しかし、これからの検査科や微生物検査を背負っていかねばならない後輩の育成と、職業の場の提供だけは確保する義務は私達に課せられています。新境地として、当院、看護学校の微生物学の教育を今年から始める。もう少し頑張ってみよう。

会長就任あいさつ

財団法人福島県保健衛生協会

比佐 哲夫



平成16年5月22日、会津支部の矢沢支部長をはじめ、会津支部会員の皆様のご協力によりアルツ磐梯で開催いたしました

総会において会長に再任されましたことに対し、お礼を申しあげますと共に、970名を代表する者として身の引き締まる思いです。

翌日開催されました理事会において、山端副会長に表彰委員長、岡田副会長に生涯教育を担当してもらい。新たな常務理事として、総務部長・事務局長に県立医科大学検査部の平木宏幸氏、学術部長に公立岩瀬病院の先崎薫氏、会計・組織部長に福島県保健衛生協会の中島久和氏を推薦し承されました。技師会要の総務部長、学術部長が変わりました。当初、運営に混乱が生じるかもしれませんがご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。また支部推薦理事についても何らかの担当を第2回の理事会で依頼する所存です。

さて、総会において承認されました会費の値上げにつきましては、健全な技師会の運営を遂行するために必要不可欠なものとして、改めてご理解と、ご協力をお願いいたします。

次に、平成17年10月16日、17日に福島市において開催される第46回東北医学検査学会につきましては、理事会で実施要綱を承認後、実行委員会を立上げ開催に向かい準備を進めてまいります。県北支部の皆様、賛助会員の皆様には多大なご協力とご支援をお願いいたします。

日臨技、平成15年度組織調査報告書によりますと、試薬の決定権は90%あるのに対して、外注先の決定権は33%にとどまっている。

なお、我々臨床検査技師が病院経営・運営に関わらなければならないと強調している調査報告では、日々の検査件数を把握している施設は90%であるのに対して、検査室の収支管理をしているのは42%、人件費は44%と半数に届かず、積極的な参画が望ましいと警鐘をならしています。判断料、検体検査加算料の取り分を明確にした検査室の収入に対し、人件費、医薬材料費、消耗品等の直接経費と+間接経費(直接経費の20%)が少なくなるように支出の削減を図ると共に正確なデータ報告に努め、情報の共有化を図り、検査室の存在感を強調すべく努力をしていただきたいと思います。

副会長就任にあたって

会津西病院 岡田 譲

お知らせ

このたび、総会におきまして平成16年、17年度の福島臨床衛生検査技師会の役員として、比佐会長の下、副会長を勤めさせていただくことになりました会津西病院の岡田譲です。過去10年の理事、常務理事、日臨技理事の経験を最大限に活用し事にあたる所存であります。

日臨技においては今期第3次マスタープランを答申しこれを踏まえ事業を展開しようと計画していますが、日臨技と県技師会との間には認識のズレが有るという事は否めません。技師法改正ひとつ取ってみても、日臨技の弱腰の体制を垣間見ることが出来ます。県技師会において会員の切なる願いは何であるか、学術団体あるいは職能団体としての目的をしっかりと見極め会務をこなしてゆくこと、前の会長が唱えた会員皆の為の技師会を継承してゆくこと、決して忌まわしい過去を繰り返してはならないと私自身肝に銘じております。会員一人ひとりにとってよりよい技師会であることを信じて、この与えられた大役を遂行してゆきたいと思っております。

会員の皆様方におかれましても、会長をはじめ役員一同にご理解と建設的な意見を賜りますようお願い致します。

平成16・17年度 (社)福島県臨床衛生検査技師会 役員名簿

役職名	担当業務	氏名	担当業務
会長		比佐哲夫	
副会長	表彰担当	山端陸夫	
副会長	生涯担当	岡田 譲	
理事	総務部長	平木宏幸	
理事	学術部長	先崎 薫	
理事	渉法部長	小林正一	議事録担当
理事	広報部長	金子隆子	
理事	会計・組織	中島久和	
理事		大花 昇	第46回東北医学検査学会担当
理事		藤野高志	〃
理事		柳沼 滋	学術部、精度管理担当
理事		根本達也	〃
理事		遠藤 隆	〃
理事		矢沢正隆	生涯教育担当
理事		山内啓蔵	〃
理事		長谷川麻利子	〃
理事		荒千恵子	渉法担当(議事録作成)
理事		武花利美	〃
理事		山口順市	広報担当(広告・エコー情報収集)
理事		蛭田栄子	〃
監事		梅津芳彦	
監事		深谷豊子	
監事		菅野英明	

★会員名簿について

- ① 技師長名を各施設のトップにします。
- ② 所属施設の移動のあった方。
①、②について各支部事務局長さんは(財)福島県保健衛生協会の中島久和氏までご連絡ください。

★平成16年度 東北臨床衛生検査技師会学術部 形態検査部門細胞検査分野研修会

日時 平成16年9月12日(日)10時~16時迄
場所 山形市ウェルサンピア山形
(山形厚生年金休暇センター)
〒990-2333 山形県山形市蔵王飯田637
Tel 023-632-6211(代) FAX 023-632-5320
内容 「病理検査室の電子化」
「顕微鏡画像のデジタル化」
「病理システム導入に際して」
「婦人科細胞診の現在の話題」
「変わりゆく細胞検査-LBCとThinlayer
標本-」 など

★第46回東北医学検査学会について

平成17年10月 福島市にて開催予定
日程 10月15日(土)
一般演題発表、ランチョンセミナー、
特別講演、機械・試薬展示、シンポジウム、
記念式典、情報交換会
10月16日(日)
一般演題発表、公開講演

★日本臨床検査技師連盟への入金(1口1000円)は?

平成16年6月締めで福島県は、口数合計は33口です。入金状況は、いわき市立総合磐城共立病院中央検査部21名、21口がダントツです。次が白河厚生病院5名、5口。

一方、お隣の茨城県は151口、栃木県は175口、埼玉県は178口、宮城県は73口となっています。全国では1610人4919口数が入金されました。

皆様のご協力をお願いいたします。

編集後記

今、話題の「血液さらさら」の実施状況を見学に来た東京女子医大へ行って来た。百聞は何とやら。臨床検査技師が流れ方を時間経過ごとに実況録音。それは形態学の世界でもあった。思いを新たにしました。一方、エコーの編集作業は、皆様のご協力のおかげで、原稿はほとんどがメールやCD、FDで届き、実際打つのは1/4ほど。感謝。(か)